

【国連 水と災害に関する特別会合開催概要】

開催日：2019年6月24日（月）

開催地：米国ニューヨーク市（国連本部 ECOSOC Chamber）

主催：共同発議国（インドネシア、日本、韓国、メキシコ、オランダ、タジキスタン）及び水と災害ハイレベル・パネル（HELP）

水と災害ハイレベル・パネル（HELP）：水関連災害に対する各国の取組み強化、世界の意識啓発や各種提言・支援するために設置された国際パネル。各国の閣僚級、国際機関のリーダー等により構成。

主なプログラム

- ・開会式（主催者及び各国首脳級参加者の挨拶等）
- ・ハイレベルパネルディスカッション（閣僚級参加者、工藤政務官によるスピーチ）
- ・特別セッション「サイクロン・イダイとケネスからのより良い復興」
- ・水と災害に対応するための科学技術セッション
- ・水と災害への投資に関する特別セッション

首脳級、閣僚級参加者：モザンビーク共和国首相、オランダ国社会基盤・公共事業・水管理大臣、インドネシア国公共事業・国民住宅大臣、ガボン共和国水・エネルギー・鉱山大臣、ジンバブエ共和国地方行政・公共事業・住宅大臣、米国陸軍工兵隊長官等

<ハイレベルパネルディスカッション>

工藤政務官はハイレベルパネルディスカッションにおいて、スピーチを行った。我が国が過去に経験してきた災害からの教訓に触れつつ、「水防災意識社会の再構築」等の我が国の取組を紹介し、防災への事前投資の重要性について発信した。



ハイレベルパネルディスカッションの様子



工藤政務官のスピーチの様子

<成果>

「水防災投資原則」（英語版：参考1、日本語仮訳版：参考2）

SDGs等の国際目標達成のために各国で水災害対策が進むように、事前投資や予防防災の強化の取組を促すためにHELPによって取り纏められ、本会合で発表された。

「水と災害に関するグローバルレポート」

各国の水災害に関する教訓が取り纏められており、日本からは社会資本整備審議会による答申「大規模広域豪雨を踏まえた水災害対策のあり方について」を紹介した。

【オランダ王国要人との会談概要】

<オランダ王国社会基盤・公共事業・水管理大臣との会談(6月24日(月))>

工藤政務官は、第4回国連水と災害特別会合に出席するオランダ王国のコラ・ファン・ニューウェンハイゼン社会基盤・公共事業・水管理大臣と、水防災分野の協力について会談を行った。工藤政務官は、伊勢湾台風による高潮災害の事例を挙げながら、気候変動の影響が拡大するなか、防災対応に取り組む必要を訴えた。ファン・ニューウェンハイゼン大臣からは、オランダでは洪水だけでなく渇水問題も深刻化しつつあり、日本と協力して水災害問題に対処していきたいとの発言があった。



ファン・ニューウェンハイゼン大臣との会談の様子